

所属・資格 社会福祉学科・教授

申請者氏名 諏訪 徹

研 究 課 題		住民福祉活動発生の基盤となる地域社会構造に関する調査研究
報 告 の 概 要	研究目的 および 研究概要	<p>本研究は、住民や当事者によるボランティアな福祉活動（以下「住民福祉活動」）の活動生成や変容のメカニズムについて、住民（行為者）たちの動態と、行為者たちと地域の社会構造のダイナミズムから説明する理論的仮説を構築するとともに、住民の福祉活動の生成と地域社会構造の相互の連関、行為者たちが構築する社会的世界を理論的に記述・分析することを目的とする。</p> <p>従来の地域福祉研究では、福祉活動についての事例的な記述は豊富にあるが、住民福祉活動の生成過程やその背景にある地域社会の構造との連関についての理論的な分析枠組みに基づく実証的な研究はほとんど行われていない。</p> <p>そこで、本研究では、これまでの地域福祉研究のように、地域福祉推進という政策目的から、住民福祉活動を専門職等の操作対象・介入対象として道具的・資源的に、あるいは専門職等の活動のアウトプットとしてとらえるのではなく、住民の生活世界の内側から構築的に、また住民の生活世界と地域の社会構造との連関のダイナミクスからとらえることとする。</p>
	研究 の 結 果	<p>2022年度は、2021年度に着手した、東京都内における調査を継続し、その結果を分析するとともに、2020年度に他地区で行った調査との比較分析を行った。</p> <p>この結果、住民福祉活動の生成メカニズムは各事例で同じであり、各事例の結果の違いは、文脈的条件の作用の違いとして説明できるのではないかという結論に至った。</p>
	研究 の 考 察 ・ 反 省	<p>コロナ下ではあったが、調査は予定通り実施することができた。今後は、2020年度からの研究結果をまとめ、先行研究の知見に照らして評価するとともに、研究成果をまとめることが課題である。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者		研究発表、研究成果は2023年度にまとめる予定である。